

経営比較分析表（令和6年度決算）

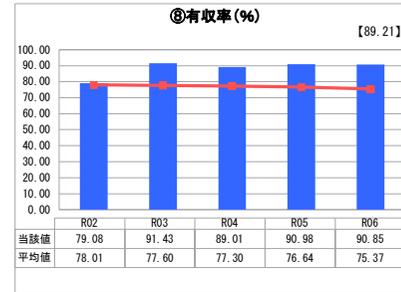
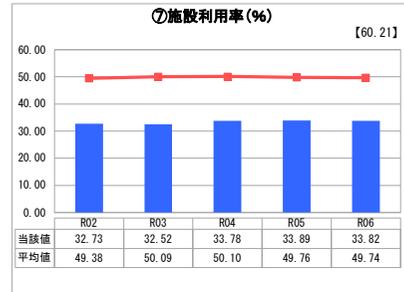
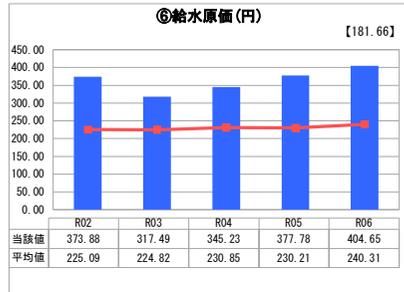
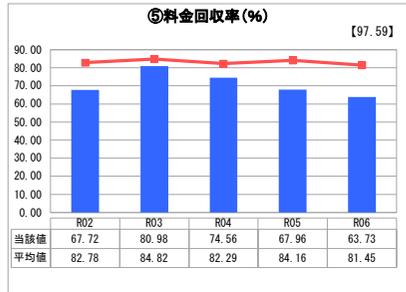
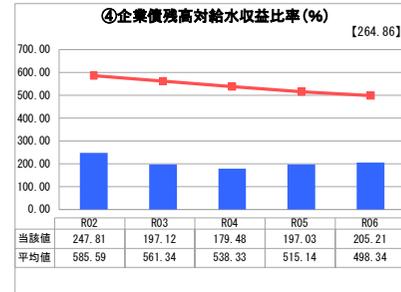
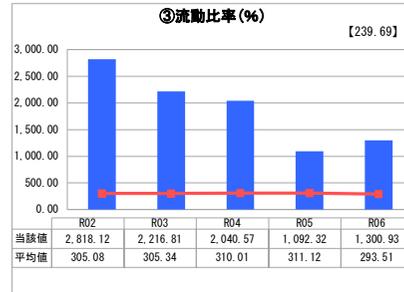
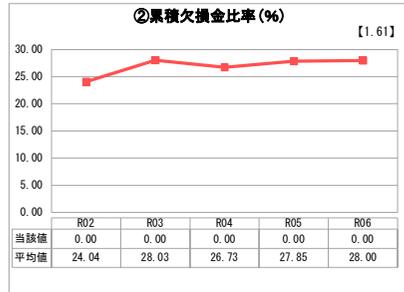
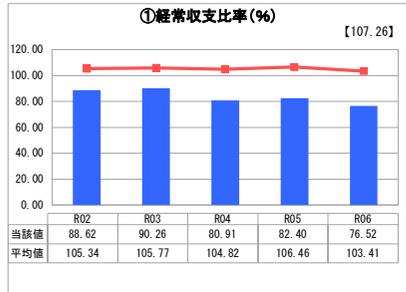
千葉県 御宿町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	85.95	97.49	4,730	

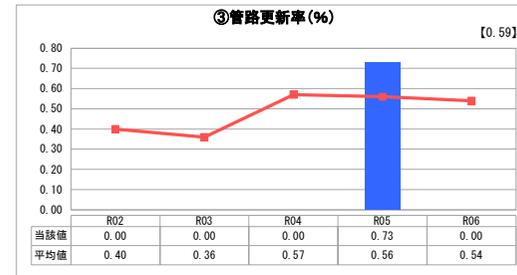
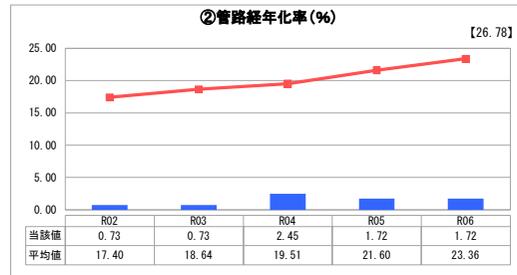
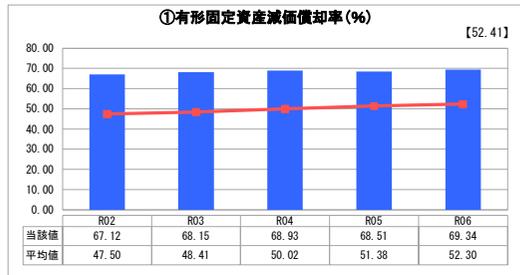
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
6,912	24.85	278.15
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
6,681	24.84	268.96

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度の経常収支比率は76.52%であり、経営の健全性を示す目安である100%を下回っています。

類似団体平均の103.41%と比較しても低く、単年度収支が赤字状態にあるため、早急な経営改善が必要です。

この主な要因は、給水原価が404.65円と、類似団体平均 (240.31円) の約1.7倍に達している高コスト構造にあると考えられます。

施設利用率が33.82%と低迷しており、人口減少等の需要減に対して施設規模が過大であることが、固定費の負担を重くしています。

また、料金回収率は63.73%にとどまり、給水にかかる費用を料金収入のみで賄えておらず、類似団体平均 (81.45%) を遥かに上回っています。

一方で、流動比率は1,300.93%と極めて高く、類似団体平均 (293.51%) を遥かに上回っています。

企業債残高対給水収益比率も205.21%と低く抑えられており、借金への依存度は低い状況です。

つまり、構造的な赤字を抱える一方で、過去の蓄積による資金余力を有しており、短期的な倒産リスクはないと考えられます。

今後は、この豊富な資金を赤字補填ではなく、抜本的な構造改革への投資に充てる視点が不可欠です。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は69.34%であり、類似団体平均の52.30%を上回っていることから、法定耐用年数に近づいている施設が多く、老朽化が進行している状況です。

一方で、有収率は90.85%と高く (類似団体平均75.37%)、漏水等は少なく管理されています。

しかし、管路更新率は令和6年度に0.00%となっており、更新投資が行われていません。

現在は良好な給水状態を保っていますが、高い減価償却率を踏まえると潜在的な更新需要は大きいため、1,300%を超える流動比率 (手元資金) を活用し、計画的な更新・耐震化事業に着手する必要があります。

全体総括

御宿町の水道事業は、経常収支比率が約76%と構造的な赤字にある一方、流動比率は約1,300%と突出した資金余力を有しています。

令和7年4月1日よりいすみ市・勝浦市・大多喜町との水道事業が統合されました。

現状の低い施設利用率 (約33%) と高いコスト構造は、広域的な施設運用の最適化により改善が見込まれます。

また、これまで進んでいなかった管路更新等の老朽化対策を推進します。これにより、コスト構造の見直しとインフラの強靱化を高立した経営への転換に努めます。